

26年度事業報告書

26年 4月 1日から 27年 3月 31日まで

特定非営利活動法人キッズドア

1 事業の成果

- 平成26年度は、平成25年度に引き続き、東京および、東日本大震災の被災地で子ども支援活動を行った。貧困状況にある中学3年生のための学習支援事業を中心に、同じく貧困状況にある小学生から高校生までの子どもたちに対し、学習支援ボランティアによる学習支援活動を年間合計1,370回実施した。活動に参加した学習支援ボランティア等は、のべ5,663人、年間のべ活動時間は4977時間となった。本事業の活動に参加した子どもは、のべ22,593人となった。高校受験合格はもちろん、学力向上、前向きになる、将来に夢を持つなど、「貧困の連鎖」解消に向けての学習支援を多数開催できた。

<関東地区>

[学習支援事業]

- 塾に行けない中学3年生へ無料の高校受験対策講座[タダゼミ]を、杉並区・足立区で開催した。5月から月2～3回、長期休暇中は夏期講習・冬期講習を実施。全員が高校進学を果たした。
- 生活困窮家庭の高校生への大学受験対策講座[ガチゼミ]を開催した。豊島区で月2回、長期休暇中は夏期講習・冬期講習を実施。東京でお茶の水大学1名、他3名が、高校生の中退予防と進学意欲が向上した。
- 東京都内の5拠点において、ひとり親家庭の子どもの学習支援事業を実施した。世田谷区受託事業「かるがもスタディールーム」(区内3か所 4月～、合計83回)、東京都母子寡婦会受託事業立川市「のびスク」(7月～、27回)、品川区受託事業「ぐんぐんスクール」(8月～、24回)において、小学生・中学生を対象に無料の学習会を開催した。子どもの居場所づくりとなり、学習習慣や成功体験を身につけたことで、学習意欲の向上が見られた。委託元から高い評価を受け、平成27年度は拠点数や実施回数拡大につながっている。
- 目黒区受託事業「生活保護世帯の生徒向け学集会」では、中学生・高校生を対象に、4月から週2回平日夕方に開催した他、夏期講習・冬期講習を実施(年間94回)した。貧困の連鎖が起きやすい世帯の子どもに教育機会を多く提供することができた。
- ゴールドマン・サックスと東京都社会福祉協議会と連携し、児童養護施設での学習支援事業「ゴールドマン・サックス・ギブス・コミュニティ支援プログラム」を5月から都内5施設で各12回、ワークショップと大学の学園祭見学を各1回実施した。大学生ボランティアがマンツーマン指導で心に傷を負った子どもの心に寄り添い、社会性を身につけながら興味ややる気を引き出した。また将来のモデル像を構築することで高校・大学進学への意欲を高めた。
- 東京都教育庁受託事業「高校生向けキャリア教育Discover Your Next」を都立青井高等学校、都立田柄高等学校にて実施。高校生が高校生活での目標や進路について考える機会を設けた。青井高校ではさらに学習支援として放課後学習会「マナブ」を15回行った。
- 母子生活支援施設(都内5施設)において学習支援事業「Family Assistant Project」、西葛西小学校算数キャンプ・わくわく学習イベント「Study Support Project」を実施した
- 福岡県福岡市のNPO法人いるかネット様の学習支援事業の立ち上げをサポートするためのコンサルティング事業を実施し、ボランティア募集、研修を含め運営全般をサポートした。無事に無料学習会が実施された。

[体験活動]

- 毎年恒例の丸の内キッズジャンボリー(8月12日～14日)において、「キッズドア工作教室NPOワークショップ」を出店した。キッズジャンボリー全体で3日間延べ12万5千人の方にご来場いただき、せっけん工作やコマ作りやうちわ作りや紙コップアニマル、びゅんびゅんゴマ作り等、豊富な企画が子どもやご

家族に喜ばれた。

- ・ 企業様ご協力を得て、社員との各種交流イベントを実施した。KLA-Tencor Japan様の電子工作教室、ゴールドマン・サックス様と「English Fan Fan Party」、マスターカード様とのキャリア教育等を企画・運営した。また中央ロータリークラブ様とのコラボレーションで、チャリティクリスマスコンサートを行った。

[情報発信事業]

- ・ こども向け情報サイト「こどもと社会をつなぐポータルサイト キッズドア」、教育格差解消をめざす「[ガクボラ]」、子ども支援・教育支援サイト「キッズドアスタイル」の運営を行った。
- ・ 12月18日に「子どもの貧困 講演会『日本の子どもの貧困の特徴と対策 2014』～ 学習支援活動の現場から子どもの貧困を考える <現状・連携・事例> ～を開催し、100名を超える参加者にご参加いただいた。

<東北地区>

[東日本大震災関連事業]

- ・ 文部科学省より平成26年度度緊急スクールカウンセラー等派遣事業(生徒指導体制強化事業)を受託し、宮城県南三陸町立志津川中学校、仙台市立高砂中学校、福島県双葉郡檜葉町立檜葉中学校で、放課後学習支援を実施。檜葉町ではサポートセンター「空の家」での学習会も並行して実施し、いずれの学校でも震災を乗り越えて志望校への進学をサポートできた。
- ・ 津波被害で流出した南三陸町立戸倉小学校が志津川小学校と二校併設しているため、児童の安全確保と心のケアのために 南三陸町の委託を受けて放課後児童見守り事業を実施した。
- ・ 仙台市においては、震災などで困難を抱える無料の高校受験対策講座[タダゼミ]を実施した。仙台市教育委員会と共催で行うことで、仙台市内の中学校に案内を配布できると共に、教室を無償提供頂くことで、実施費用を抑えながら多くの生徒に支援を届けることができている。参加した生徒の学力は伸び、多くの生徒が志望校に進学できた。同会場で、高校生向けの学習会 [ガチゼミ]も行った。なお、受験生を生活面で応援するために、フードバンク機能を持つNPOと連携して、月1回の食品提供サービスを[タダゼミ]・[ガチゼミ]に通う家庭(希望者)に実施し、子ども及び保護者などから大変喜ばれた。
- ・ 仙台では、月・水・金の週3日、自習室の運営を行ない、多くの生徒の利用があった。不定期に、生徒への食事の提供も実施し、大変好評であった。
- ・ 檜葉町教育委員会が受託した文部科学省「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」で「コミュニティスクール・ならはキャンパス」のコーディネーターとして事業の企画・運営を行った。
- ・ 双葉郡双葉町の小中学生向け放課後学習会「ふたばっ子学習会」を教育委員会事務局と協働して開講した。住民の方々が長らく待ち望んでいた学習会が始まったとのこともあり喜ばれている。子どもたちの学習習慣の定着及び学力の向上がみられている。
- ・ 2012年3月から参画している「OECD東北スクールプロジェクト」(主催:福島大学、協力:OECD、文部科学省)の資金調達が本格化する中、2013年10月から産官学連携に係る業務を受託し、被災地域の中高生約100人による地域の復興活動と2014年8月にパリで復興をPRするイベント「東北復幸祭<環>in Paris」の開催をサポートして。主に生徒による資金調達を企画運営し、フランス大使館での広報イベントや企業様へのプレゼンテーションなどを企画運営した。最終的には7700万円の資金調達を行った。
- ・ 福島県内外に避難している中学生を対象に、グローバル化する社会で活躍するための基礎力として、英語力とITスキル、グローバルマインドを身につける実践的な学習プログラム「Global Stream」を企画実施した。広域に避難している子どもたちが、オンライン学習とスクーリング(面接授業)を通じて一緒に楽しく学び合うことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施	実施	従事者	受益対象者	事業費の
-----	------	----	----	-----	-------	------

		日 時	場 所	ボラン ティア の人数	受益対象者 の範囲及び 人 数	金額 (千円)
学習支援	無料の高校受験対策講座[タダゼミ] 無料の大学受験対策講座[ガチゼミ] ひとり親家庭の小中学生学習支援 生活保護世帯の中高中生学習支援 児童養護施設・母子生活支 援施設の訪問型学習支援 高校でのキャリア教育事業 小学校での学習支援事業等	4月から 土曜・日曜 を中心に、 定期開催	杉並区障害者交流館 足立区生涯学習センター 三軒茶屋区民集会所・成城ホール はあと立川 目黒区役所 品川区立総合区民会館さゆりあん 都内児童養護施設4か所 都内母子生活支援施設5か所 都立青井高等学校 都立田柄高等学校 江戸川区立西葛西小学校 等	約5,030 人	約6800人	34,715
体験学習	丸の内キッズジャンボリーでの無料ワークショップ開催 等	8月12日,13 日,14日	東京国際フォーラム	約120人	約2,000人	2,553
情報発信	子ども情報サイト「キッズドア」の運営	4月1日～ 3月31日	http://www.kidsdoor.net/	2人	平均 2,000PV/日	6,667
東日本大震災 関連学習支援	児童の健全育成の運営 生徒の放課後学習支援 OECD東北スクール	4月～ 3月31日	南三陸町立戸倉小学校 南三陸町立志津川中学校 仙台市立高砂中学校 仙台市教育委員会 檜葉町教育委員会 双葉町教育委員会 いわき市教育委員会	約600人	約10,100人	11,579

(2)その他の事業

なし